

すべての年齢でさらなる改善を!

4・5歳児の保育士配置基準が76年振りに30:1から25:1に改善されましたが、まだまだ不十分です。国際的に見ても貧しいままであることに変わりはなく、すべての年齢において配置基準の引き上げが必要です。



4・5歳児の保育士配置基準 国際比較

日本	フランス (パリ市)	スウェーデン (ストックホルム市)
25:1 (30:1も可)	15:1	18:3 (実質6:1)

保育士の賃金と 労働条件の引き上げを!

低すぎる保育士の給与
月給での比較(2023年)

31万 8,300円 全職種	26万 4,400円 保育士
----------------------	----------------------

出典:令和5年賃金構造基本統計調査

保育士の賃金は全産業平均より5万円も低く、子どもの命を守り発達を保障する高度な専門性に見合っていない。保育士不足も深刻です。

子どものために、保育士が安心して働き続けられる賃金と労働条件の大幅な引き上げを求めます。

日本を子育て しやすい国に



日本は、子育てがしづらい国になっています。こうした現状を変え、だれもが安心して子どもを生き育て、ゆとりある生活ができるようにするためには、労働時間を短縮し、賃金を引き上げるなど、すべての働く人たちの状況を改善することが必要です。

だれもが安心できる 子育て支援施策を

すべての子育て支援施策は子どもの権利保障を最優先に実施されるべきであり、公的責任を明確にしたうえで、条件整備をすすめるなど、抜本的な拡充が必要です。

自国は子育てしやすい国だと思うか?

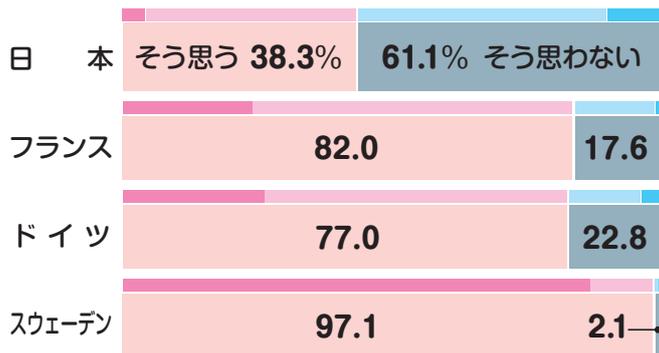
日本では「そう思わない」が約6割!

とても
そう思う

どちらかといえば
そう思う

どちらかといえば
そう思わない

全く
そう思わない



出典:内閣府「令和2年度少子化社会に関する国際意識調査」(2021年3月)
*各国とも無回答は1%未満



◀◀署名運動のページ

こども誰でも通園制度って何?

新たな子育て支援施策として、6カ月~2歳児の未就園児を月10時間まで預けることができる「こども誰でも通園制度」の試行的事業が、一部自治体で始まっています。子どもの命と安全、在園児への影響、保育者の負担増、責任の所在など、不安の声があるにもかかわらず、国は2026年度から全自治体での本格実施を強行しようとしています。

子どもたちのために 保育予算の大幅増額を!

子どもたちには保育を受ける権利があります。国と自治体にはそれを保障する責任があります。

子どもたちのために私たちの「願い」を署名に託して、いっしょに声をあげましょう!

署名にご協力
ください。



子どもたちのために! 学び、つながろう! 声をあげよう!

よりよい保育を! 実行委員会 [2024年度署名]

連絡先: 全国保育団体連絡会

〒162-0837 東京都新宿区納戸町26-3 TEL 03-6265-3171

取扱団体